

令和5年度 幸福の黄色いハンカチ広場指定管理者評価表 【総括表】

施設名	幸福の黄色いハンカチ広場	
施設概要	<p>「幸福の黄色いハンカチ広場」は平成19年4月1日より指定管理者制度により管理を開始し、現在は特定非営利活動法人ゆうぱりファンタが5年間（平成31年4月1日から令和6年3月31日まで）の管理を行っている。</p> <p>また平成29年には施設を全面リニューアルし、老若男女問わず「真の幸福」を考え、夕張の文化を発信する重要な観光拠点である。</p>	
評価項目	1	事業計画・運営全般について
	2	利用者へのPR・サービス向上について
	3	施設の安全管理・美化について
	4	関係団体との連携・地域との協調について
	5	指定管理者の自主事業について
指定管理者 自己評価（達成点・課題点など）		指定管理者 自己評価
<p>指定管理期間の中で、胆振東部地震や新型コロナウイルス蔓延など都度必要な対策を実施し、園内整備や必要な人員配置も行い、事故なく安全な運営が行えた。天災・疫病などにより入場者数は減少傾向が続いたが、令和5年度は昨年対比もプラスに転換し入場者数が15995名まで回復できた。今度も来場数の増加は宣伝等強化することで見込まれるが入場者の半数以上がシニア世代であり、長期的な課題は否めない。</p>		A
施設所管課 評価・意見		施設所管課 評価
<p>予期せぬ感染症の影響をダイレクトに受けた5年間と言える。その中で、最終年である令和5年度の回復傾向については、日頃の誘客に向けた営業努力であり、評価できる。一方で、資金繰りの悪化や人的ミスが起因の石炭博物館への共通券精算の遅延とその対応については、市や本施設の不信感を招く重大インシデントであり、指定管理者としての財政基盤及び運営体制が十分であるかを再度公平に審査する必要があることから、本指定期間を区切りとして公募による再選定とした。本施設は市の重要な観光拠点として観光促進及び関係人口創出に寄与するとともに、市民の交流の場としても機能することが求められるため、今後については主に次の点を期待したい。</p> <p>(1)市内周遊のため、積極的な地域の情報収集や市内連携構築。</p> <p>(2)新しいファン層獲得のため、リアルタイムかつ持続的な情報発信と社会情勢やトレンドに合わせた柔軟な事業計画。</p> <p>(3)持続可能な運営のため、財政基盤の安定及び施設の維持管理・魅力の磨き上げのために必要な商業的発想とチャレンジ意欲。</p>		B
評価委員会 評価・意見		評価委員会 評価
<p>今回の評価に当たっては、指定管理者による自己評価、施設所管課の評価を事前に作成し、資料を委員会へ提出。評価委員会にて評価委員と指定管理者との質疑・応答を実施し、上記の評価基準に基づき、総合的に行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の安定的な運営のため、人員体制の整備と資金繰りの徹底を求めたい。 新たな顧客獲得のため、集客に繋がるアイデアの造成と実現を求めたい。 		B